

4. 今後の具体的な運営検討に向けて

道の駅の開業まで、約2年半となりましたが、施設の運営方法や魅力づくりという側面から、以下の課題について早急な協議が必要です。

【課題】

- ◆道の駅の入込客数を増加させるための、
営業部門の魅力づくりに関する協議
- ◆安平町の道の駅が目玉となる新規特産品やテイクアウト品の開発
- ◆ベーカリー、テイクアウト、特産品販売の各コーナーの運営方法
(運営者が直接経営するか、テナント店を募るか等)
- ◆生産者協議会との農産物直売所の運営に関する協議



これらの課題点を協議するにあたっては、施設を主体的に運営する候補団体を選定することが必要です。

運営候補団体の選定にあたり、町としては道の駅での消費によってもたらされる経済効果を地域内で循環させることを第一条件として捉えています。また、道の駅の管理運営者は設置者である町の代行者となるため、町内の公共的団体が望ましいとも考えています。

更には、地域資源の集結により価値を高め、交流人口を拡大し、町内全域への回遊交流につなげるという道の駅の整備目的と候補団体の活動方針が合致することも重要です。

こうした条件から、平成31年春のオープンに向け、現在一般社団法人あびら観光協会との調整を進めています。

道の駅に関するお問い合わせは、企画財政課企画グループ（☎2751）へご連絡ください。

